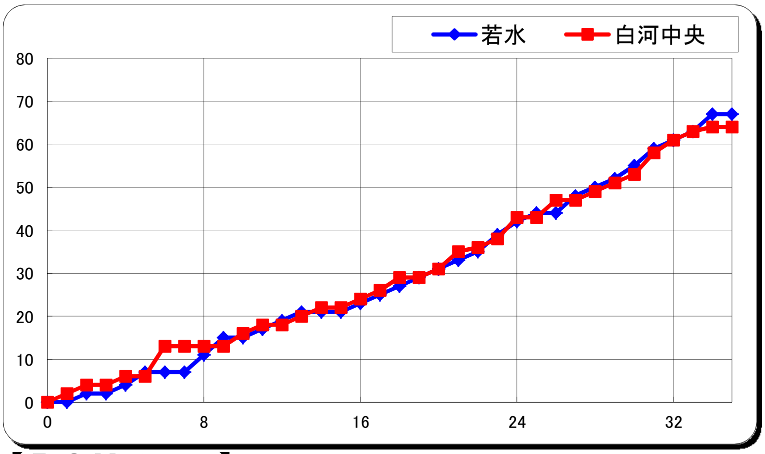
大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会
会　場	さいたま市記念総合体育館
日　時	平成24年8月22日（水）　14:50
コート	Ｃコート　　第５試合
カテゴリー	女子　　予選Kリーグ
主　審	岩田　千奈美　（東京都）
副　審	小柳　幸子　（埼玉県）

Team A					Team B
若水	67	11	1st	13	64	白河中央
（愛知県）		12	2nd	11		（福島県）
		19	3rd	19		
		19	4th	18		
		6	OT	3		

【得点経過】



【ＢＯＸスコア】

Team A	若水						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	須田　桃香	×	12	2	2	2	1
5	川口　友香	×	19	0	8	3	3
6	粥見　奈由	×	9	0	4	1	1
7	服部　夏実	×	8	0	4	0	3
8	清水　碧	／	0	0	0	0	0
9	二宮　知紘	／	0	0	0	0	0
10	中島　彩衣	／	10	0	4	2	5
11	磯部　らな	DNP	0	0	0	0	0
12	梶原　希歩香	DNP	0	0	0	0	0
13	米納　京香	DNP	0	0	0	0	0
14	成田　夏乙	DNP	0	0	0	0	0
15	馬瓜　ｽﾃﾌｧﾆｰ	×	9	0	4	1	3
16	東　優衣	DNP	0	0	0	0	0
17	岡田　真那美	DNP	0	0	0	0	0
18	大河内　美衣奈	DNP	0	0	0	0	0
監督	西澤　一真						0
コーチ	儀満　かおり						0
合　計			67	2	26	9	16

Team B	白河中央						
番号	選　手　名　前	出場	得点	３Ｐ	２Ｐ	ＦＴ	反則
4	齋藤　彩実	×	8	0	2	4	3
5	遠藤　桐	×	22	2	7	2	2
6	矢上　彩乃	×	11	2	2	1	2
7	國井　彩友美	×	8	0	4	0	1
8	横井　愛薫	×	10	2	2	0	2
9	遠藤　愛李	／	3	0	0	3	2
10	深野　実玖	／	2	0	1	0	1
11	丹治　明日奈	DNP	0	0	0	0	0
12	堀　みずか	DNP	0	0	0	0	0
13	遠藤　さくら	DNP	0	0	0	0	0
14	菊地　由莉	DNP	0	0	0	0	0
15	鈴木　知沙美	DNP	0	0	0	0	0
16	黒須　理緒菜	DNP	0	0	0	0	0
17	鈴木　未悠	DNP	0	0	0	0	0
18	深谷　莉菜	DNP	0	0	0	0	0
監督	橋本　高尚						0
コーチ	室井　裕子						0
合　計			64	6	18	10	13

【戦　評】

東海ブロック代表若水（愛知）と東北ブロック代表白河中央（福島）の対戦。1Qは、若水は2－2－1のゾーンDef、白河中央はハーフコートマンツーマンDefでスタート。白河中央は、素早い攻撃でシュートまでもっていく。Defは若水＃15のインサイドからの攻めをしっかり抑えリバウンドも取らせない。若水のゾーンDefに対し、ミドルからの＃4, ＃8のジャンプシュート、＃5の3Pで点差をつけていく。若水は、白河中央の厳しいDefに対してシュートがなかなか決まらない。それでも、＃4, ＃5の1対1で必死についていく。1Qは11－13で白河中央が2点のリードで終了。2Qは、始まりから若水のゾーンDefに白河中央が苦しみ、外からのシュートを狙っていくがなかなか得点につながらない。若水は＃15のインサイドからの攻撃と、外からの1対1で得点を積み、開始4分が経過した時点で若水が逆転に成功する。残り1分で白河中央は＃10を投入し、2Q終了10秒で＃10がアウトサイドからのジャンプシュートを決め23－24で、白河中央が1点をリードして前半を終了。

3Qは、お互い攻撃のスピードを緩めず、激しい点の取り合いが始まる。白河中央＃4の粘り強いDefと、＃5のジャンプシュート、3Pと果敢に得点を決めていく。若水は＃5, 10のドライブからシュートを確実に決め、接戦が続く。開始3分で同点になり、その後もなかなか点差がつかず、3Qも42－43で、白河中央が1点をリードして終了。4Qは若水＃15のジャンプシュートが決まれば、白河中央＃8の3Pと一進一退の展開が続く。タイムアウト後も若水＃5がジャンプシュートを決めるが、白河中央も＃7がジャンプシュートを決め、一歩も引かない。残り25秒、若水＃7がアウトサイドからジャンプシュートを決めて2点リードするが、すぐ白河中央＃4もジャンプシュートを決めて、同点にする。残り3秒タイムアウト後からの若水のOffからスタート。エンドラインからのスローインで＃15にパスを入れゴール下シュートを打つが決まらず、4Q終了61－61で延長戦へ持ち込まれる。延長3分、どちらもチームファールが5つでスタートする。開始早々、白河中央＃9がフリースローを2点決める。若水も＃6がジャンプシュートを決めて再び同点。その後、白河中央のイージーミスが続き若水のペースに持ち込まれる。最後は若水の粘り強いPlayで67－64で若水に軍配が上がった。両チームが今持っている力をすべて出し切ろうとする中学生らしい素晴らしい好ゲームであった。

【戦評記入者】　加藤　麻美子

埼玉県中学校体育連盟　バスケットボール専門部